

苔玉作り教室

平成19年5月27日(日)
13:30~14:45

申込人数126名
抽選25名 参加者25名



苔玉を作る事がどうして環境を考える事になるのか不思議に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが。実は苔玉にされる山野草などは盗難されることがあるのです。そこで、山から野草を取って帰ると罰せられるように法律も変わりつつあることや、根から持って行ってしまうとほとんど枯れてしまうことを知ってもらうことで自然環境への理解を深めてもらいます。

今回の苔玉作りで使うセッコクなどの植物も挿し木などで育てたもので山から持ってきたものではないこと、これから盗難が心配されるヤマアジサイなどの挿し木の方法も教えていただきます。もし、山で見つけた野草などを育てたい場合は、山の持ち主の許可を得てから挿し木をすると必ず根がつくと説明がありました。

続いて苔についてのお話がありました。コケダマのコケは「苔」が使われていますが、コケを漢字で書くと「苔」と「蘚」という字があるそうです。この2文字をあわせて蘚苔類といい、コケをさす種類になります。



今回作る苔玉は、ミズゴケを使った苔玉とハイゴケを使った苔玉2種類です。まずは、ミズゴケを使った苔玉作りです。用意していたセッコクはミズゴケに挿し木をして分けていたものなので小さなポットの中から根っこを出して、根っこに付いているミズゴケをやさしくほぐしながら取り外します。吊るせるように針金を差し込んだ2cm角の発泡スチロールの周りにミズゴケを球体になるように巻いていきます。自分の思う大きさにになったら、テグスで苔玉を固定させると完成です。

ハイゴケを使った苔玉作りは赤玉と鹿沼土を混ぜたものに水を加え苔玉にする苗木の根を包むようにして土団子を作ります。それから土団子の表面にハイゴケを薄くのばしながら被っていきます。ハイゴケで厚く表面を覆ってしまうと水はけが悪くなり根腐りの原因になるので、薄くのばしながら覆っていくのがポイントです。

ミズゴケとハイゴケを使った2通りの苔玉作りを講師から教えていただいた後は、思い思いの苔玉を作りました。

参加者が各自用意していた苗木などで色々な苔玉ができました。



参加者の声

「挿し木の方法が思いのほか簡単にできる事がわかったので、家で育てている植物も挿し木で増やして苔玉にしてみます。」

「お店で売っている苔玉より不恰好だけれども自分で作った苔玉だからすごく愛着がわきます。どんな花が咲くか、大切に育ててみます。」

